

令和7年度事業計画（概要）

1 配合飼料価格差補てん事業

（1）数量契約

契約件数	569件
契約数量	821,254t

（2）積立金

通常補てん積立金（800円／t）	657,003千円
------------------	-----------

2 畜産環境整備リース事業

（一財）畜産環境整備機構の業務受託団体として、畜産整備リース事業（経営リース）について、配合飼料価格差補てん契約加入者対象に貸付申請及び検収等の業務を実施する。

3 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営安定のため、県畜産協会の指導を受けながら、関係荷受組合の協力（事業委嘱）を得て肉牛の個体登録、販売確認、積立金の収納等関連業務等を実施する。

4 肉豚経営安定交付金制度

独立行政法人農畜産業振興機構が法律に基づき実施している肉豚経営安定補給金制度に加入する生産者の受付窓口として、関係荷受組合の協力を得て、販売計画、販売確認や積立金の収納等関連業務を実施する。

5 飼料用米の利用拡大について

協同組合日本飼料工業会及び各飼料メーカーとともに飼料用米の利用拡大を推進する。

6 畜産クラスター事業（畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業）

千葉全日畜畜産クラスター協議会及び千葉県養豚振興協議会畜産クラスター協議会の構成員として、機械導入事業（クラスターリース事業）の推進について、事務局への協力及び支援するとともに、事業対象とならない機械装置等については畜産環境整備リース事業の活用へ誘導する。